



土合中学校のおはなし ②

右の絵は前回のお話のころ、土合中の校庭から見た、刈り入れが終わった中島田んぼの風景を描いた水彩画です。手前に稲を干した矢来(やらい)があります。煙は焚火ではなく、もみ殻を燻煙させて炭のようにして肥料を作っている情景で今では少なくなった「すくも焼き」の作業です。煙の大きさからかなり多くのもみ殻に火をつけているようです。風のない、煙たなびく秋の穏やかな風景ですね。今なら、煙を出したらすぐ消防車が来るところですが、遠くの音が聞こえるほど静かでのどかな農村が感じられます。よく見ると電柱が傾いています。当時、あぜ道に立つ電柱はこのように傾いていることがよくありました。



さて、土合中はその後、2号棟、3号棟や体育館などの増築を行いました。さらなる生徒数の増加にともなって、1971年(昭46)に全面改装を開始しました。翌年に新校舎第一期工事が落成し、1982年(昭57)まで12年の歳月をかけ、現在の土合中の姿となりました。途中、土合小学校の分校に絡めて1976年に田島中を分離しています。2020年時点で、土合中937名、田島中776名、上大久保中516名と、静かだった旧土合村の教育環境は大きな変革を続けてきました。

「文武両道」という言葉がありますが、現在の学校のHPを見ますと部活動方針というページがあります。運動部、文化部を合わせて、9割以上の生徒が部活動をしているのが分かります。運動部では全国大会や県大会などで多くの実績を上げています。アジア大会金メダル、リオ五輪出場という生徒もおられました。村の中学校がここまで変わるとは当時予想もしなかったでしょう。一度しかない今という時間に学校という環境で自分に自信の持てる宝を見つけてほしいと願っています。

（いほら）



現在の土合中学校

※水彩画は当時土合中で指導されていた、小川游先生の作品です。

小川游先生 あれこれ

今回の水彩画を描かれた、洋画家の小川先生は大学卒業後、昭和30年代初めに土合中学校に赴任されました。先生は多くの生徒から慕われ、当時教えていただいた生徒の間では70歳を過ぎた今でも楽しい思い出が話題にのびります。

小川游先生略歴

- 1932年(昭7) 旧満州吉林省四平街に生まれる。
- 1956年(昭31) 東京芸術大学油画学科卒業。
浦和市立土合中学校の美術教諭となる。
- 1970年(昭45) 浦和市立高等学校の美術科教諭となる。
- 2007年(平19) さいたま市美術家協会初代会長に就任。
- 2010年(平22) 一水会代表となる。
- 2016年(平28) 北海道中札内美術村に「小川游作品館」開設。

主な受賞歴

- 二科展入選(昭31)、一水会会員優賞(昭49)
- 第60回記念一水会展文部大臣奨励賞(平10)
- 埼玉文化賞(平10)、小山敬三美術賞(平14)
- さいたま市文化賞(平22)

小川游先生の作品は埼玉県立近代美術館、さいたま市立うらわ美術館などにも所蔵されています。また、画集「小川游画集」は土合中学校の蔵書になっています。



無料車いすをご利用ください

土合地区に在住在勤の方を対象に最長1か月の無料貸し出しを行っています。電話で予約をお願いします。

☎048-826-5993 (平日 10:00 ~ 16:00)

- ・旅行時の安心に
- ・病院への通院などに
- ・妊婦さんの移動に
- ・ケガなどで一時的に
- ・入院中の一時帰宅に
- ・避難訓練・福祉体験に



賛助会員・歳末たすけあい ご協力の御礼

皆様のご協力のもと、下記の金額が集まりました。今年もご参加いただきましてありがとうございました。

- ◆賛助会費合計(8/6現在) 1,281,400円
- ◆歳末たすけあい運動(12/11現在) 1,368,800円

特別賛助会員のご紹介(敬称略)

- ◆(株)大沢工務店
- ◆(株)セレモニー
- ◆(株)谷口工務店
- ◆西堀整形外科内科
- ◆土合地区民児協
- ◆土合地区社協預かり分
- ◆西堀ひかわ幼稚園

フードドライブに協力しました

フードドライブは、ご家庭で余っている食品をご寄付いただき、生活に困窮している方々へとお配りする活動です。

土合地区社協では毎年、桜区区民ふれあいまつりの会場で食品の寄付を募って参りましたが、今年はコロナ禍によって、ふれあいまつりが中止となりました。

そこで、10月に土合地区社協事務局へ直接お持ち寄りをお願いしたところ、昨年を上回る合計121.9kgもの食品が集まりました。皆さまの温かいお気持ち、ありがとうございます!

食品は「NPO法人 フードバンク埼玉」を通じて必要とする方々に届けられます。



令和2年は新型コロナウイルスの感染が拡大し、土合社協でも活動やイベントがすべて中止となりました。一時は編集活動も出来なくなり、やむなく、夏号は発行を取りやめました。後半になり、皆さんの活動もしっかりと感染予防をしながら、徐々にではありますが戻ってきています。今回は新型コロナに負けずがんばっている団体や皆様方の取り組みを紹介いたしました。元気な笑顔届けられればと思います。(和)



「賛助会員」加入のお願い

～ みんなで進める地域の福祉 ～

☆種類と会費 (1口あたり年額)

一般賛助会員 / 300円 個人賛助会員 / 1,000円
団体賛助会員 / 5,000円 特別賛助会員 / 10,000円